

大学・高専・高校教員向け教材研究会

メディア芸術データベースで学ぶデータサイエンス



文化庁では、データサイエンスを学ぼうとする学習者が、マンガ・アニメーション・ゲーム分野のデータを用いて、楽しみながらデータと向き合い、データから得られる発見と共有による喜びを体験していただくための教材として、令和5年3月より「メディア芸術データベースで学ぶデータサイエンス」を公開しています。教材はオンラインで公開され、いつでも、誰でも、無償で利用いただけます。ポイントをわかりやすく解説した動画も御用意しています。

本研究会は、この新しい教材の活用方法についてご理解いただき、より多くの学生の皆さまにお届けすることを目的として、初学者向けデータサイエンスの教材づくりや講義をご担当の教員の方々を主な対象者に企画・開催するものです。

第1部は、教材開発を担当したプロジェクトメンバーによる教材概要および開発の背景と狙いの共有、第2部は演習コマのハンズオントレーニングとして全体で2時間で構成しています。教材に対するご意見・ご要望をはじめデータサイエンス教育の課題共有のための質疑応答・ディスカッションの時間も設定します。

ぜひデータサイエンス教育に関わる多くの教職員の皆さまのご参加をお待ちしております。どうぞお気軽にお申込みください。

令和5年9月19日(火)

START 16:00-18:00 END

オンライン (Zoom) 開催

参加対象者：

- ①大学・高専・高校教職員
- ②教育関係者
- ③教育・データサイエンス分野の研究者
- ④企業における人財開発の担当者

※上記以外で参加を希望される場合は、お手数ですがお問い合わせ窓口までメールでご連絡ください。

参加申込方法

STEP1：フォームにアクセスして参加登録をする

STEP2：開催日までに Zoom URL をメールでご案内

STEP3：開催当日、Zoom URL にアクセス

参加登録申込フォーム
アクセスはこちら



<https://www.glocom.ac.jp/events/information/9032>

研究会 プログラム

第1部：16:00-16:40

- 教材概要のご説明 (10min)
 - 教材開発者による各コマのご説明 (15min)
 - 質疑応答・ディスカッション (15min)
-

第2部：16:45-18:00

- 演習 (コマ2・3) のハンズオントレーニング (1h)
- 質疑応答 (15min)



教材コマ一覧

本教材シリーズは、データサイエンス初学者を対象に、Excel でできるデータ分析の基礎とビジュアライゼーションについて学べる全5コマで構成されています。教材研究会では各コマの開発担当者から概要をご説明いたします。

1



メディア芸術 × データサイエンスって誰のため？何のため？

メディア芸術データベースとは何か、データサイエンスをすることで何ができるかについて解説します。文化振興、ビジネス、学術研究など、自分の専門分野や興味関心に応じて、データサイエンスを学ぶ意義への理解を促します。



神原 直樹
清泉女学院大学 人間学部
文化学科 専任講師



菊地 映輝
国際大学 GLOCOM
主任研究員 / 講師

2



データビジュアライズにチャレンジしよう～初級編

マンガ分野を対象に、Excel のピボットテーブルを用いた集計・分析について解説しながら、データをビジュアライズすることの面白さを理解します。データはあらかじめメディア芸術データベースから抽出したサンプルデータセットを使います。



岡田龍太郎
武蔵野大学データサイエンス学部
データサイエンス学科 助教
国際大学 GLOCOM 研究員 (併任)

3



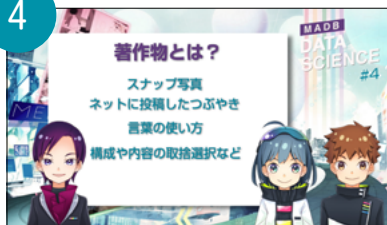
データビジュアライズにチャレンジしよう～応用編

ゲーム分野を対象に、データから特徴量を設計し、分析を進めます。自分の興味関心や仮説立証のための分析と、データビジュアライズを通じて新たな発見が得られることを体験していきます。基礎的なテキスト解析にもチャレンジします。



岡田龍太郎
武蔵野大学データサイエンス学部
データサイエンス学科 助教
国際大学 GLOCOM 研究員 (併任)

4



MADB のデータは自由に使ってもいいの？

データを扱う上で留意すべき事項について、著作権を中心に学びます。著作物やオープンデータとは何かについて解説したうえで、メディア芸術データベースだけでなく、外部のデータを組み合わせたさらに高度な分析に向けて準備します。



渡辺 智暁
国際大学 GLOCOM
主幹研究員 / 教授 / 研究部長

5



データビジュアライズからの発見を伝えよう

本教材を用いた分析を通じて自分が発見したことを伝えるためのプレゼンテーションを作成します。相手を想定したうえで、明確でわかりやすく、説得力のあるデータビジュアライズを作成するための配色や表現の工夫について学びます。



小林 奈穂
国際大学 GLOCOM
主幹研究員 / 研究プロデューサー



教材・サンプルデータセットのダウンロード



https://mediag.bunka.go.jp/madb_lab/lod/ds/



大学・高専・高校教員向け教材研究会

メディア芸術データベースで学ぶデータサイエンス

主催：文化庁

運営：国際大学 GLOCOM/ メディア芸術コンソーシアム JV 事務局

本研究会に関するお問い合わせ：

✉ info_pf@glocom.ac.jp

(担当：小林)